

スカウトちば

# SCOUT CHIBA

「スカウトちば」は、日本ボーイスカウト千葉県連盟の広報誌です。

Vol.97

2021年1月1日発行



【富士スカウト特集】

## 富士スカウト7人誕生

～続こう！ 富士スカウトの先輩に～

昨年度は7人の富士スカウトが誕生しました。  
富士スカウトの皆さんからの感想、保護者・指導者の方からは励ましやお祝いのメッセージをお寄せいただきました。  
充実した活気のある活動と多くの方のご支援にエールを送り、これに続く皆さんの活躍を期待します。

100 YEARS OF SCOUTING  
IN JAPAN  
1922 - 2022

写真提供: ボーイスカウト日本連盟





プロジェクト「劇団総監督計画」にて

## ボーイスカウトで富士章を 取得するまで

石黒 貴子

松戸・鎌ヶ谷地区 松戸第1団  
ローバースカウト隊  
認証番号:日本連盟3938 県連盟157

富士スカウト章取得は単なる自分一人のレポートではなく、自分を支えてくれる人や仲間が存在が必要不可欠だということを感じました。カブスカウト隊からボーイスカウト隊に上進し、周りの仲間たちが次々に辞めて行き、私自身も辞めようと考えたこともありました。しかしここまで続けることができたのは間違いなく隊長と仲間のおかげです。

ボーイスカウト隊の活動では自分達が主体となって考え、キャンプや隊集会を行ってきましたが、ベンチャースカウト隊や富士スカウト章取得にあたり、宗教章や奉仕活動などの活動を通して、環境や周囲の人たちのことを考え行動するようになりました。さらに私は海外にてプロジェクトを行なったので世界にも目を向けるようになったと思います。

ボーイスカウトで世界スカウトジャンボリーや日本スカウトジャンボリーに参加しなければ私は視野が狭いままだと思います。富士スカウト章を取得するまでで私は数多くの経験をし、仲間や家族、チャンスに恵まれ、一生分の思い出と仲間を作ることができました。それが富士スカウト章取得までのボーイスカウト活動での1番の宝物です。

## 仲間

松戸・鎌ヶ谷地区 松戸第1団  
ローバースカウト隊  
認証番号:日本連盟3988 県連盟161

加納 菜月

私がカブスカウトから活動を続けてきた間にたくさんの仲間ができました。世界スカウトジャンボリーがきっかけとなって、地区にはたくさんの親しい仲間ができ、一緒に活動することで人数を補い合って隼スカウト章を取得しました。仏教章取得のための研修会で、関東各地のボーイスカウトやガールスカウトと交流しました。仏教団のスカウトも多く、それぞれの生活や考え方が多彩で活動の幅が増えました。できた仲間とは今でもSNSでつながっており、相談をしあったりそれぞれの活動の様子をみたりしています。遠くの活動の様子を知る度に刺激をうけるし、遠くでも同じ目標で頑張っている仲間がいると思うと自分も頑張ろうと思えます。

同じようにたくさんの仲間がやめていきました。そのなかで、私には10年以上も共に活動してきた二人の仲間がいます。励まし合いながら助け合いながらここまでできました。二人には感謝してもしきれません。

私はこのつながりを一生大事にしたいです。このような仲間と出会えたことは、ここまで活動を続けてきて、富士スカウト章に挑戦して本当によかったと思っています。



プロジェクト「Японская и русская кухня  
～ロシア料理を調理せよ!～」で訪問先のロシアにて

## スカウトの11年間を振り返って

保護者 ● 加納 純子

菜月が、松戸1団のカブスカウト隊に入隊して11年。私も一緒にハイキングしたり舎営したりしていた頃が懐かしく思われますが、いつのまにかスカウトだけで重い荷物を背負って遠くへキャンプに行くまで成長しました。これほど長くボーイスカウト活動を続け、富士スカウト章を取得することができたのは、非常に恵まれた環境にあったおかげだと思います。

まず、スカウト仲間が存在が大きく、学校も部活も違う仲間と幼い頃から一緒に活動しとても良い関係を築いてきました。さらに、ボーイスカウト隊在籍中に日本開催の世界スカウトジャンボリーに参加することができ、多くの経験をさせていただきました。

その頃から、地区の他団のスカウト達との交流も増え、より楽しんで活動に参加していたように思います。また、カブスカウト隊からベンチャースカウト隊まで同じ隊長にご指導いただき、他のリーダーと共に暖かく見守り、背中を押し、支えていただいたことに感謝申し上げます。

## 団家族とともに

保護者 ● 石黒 弥生

今から思い起こせば、富士スカウト章を取るということはボーイスカウト隊の時からしっかりとリーダーが富士スカウト章を見据えてサポートしてくださったこと、また今までの活動を通して築いた仲間がいたということがあったからこそだと思います。

ベンチャースカウトになると親が手伝うことはないため、本人の強い意志がなければ簡単に富士スカウト章を取得することはできないことはわかっていました。

隊長と築いてきた信頼関係、そして影から支えて頂いたおかげで一つひとつの課題に真摯に取り組んだ結果、最終的に富士スカウトになれたと思います。

富士スカウト章授与式を団で開催して頂いた日は、奇しくも土砂降りの中での授与式となりました。その中、県連盟コミッショナーを始め地区委員長、地区コミッショナーの来席を頂き、団員の前で富士スカウトとして決意表明する我が子の姿は誇らしく、そして雨の中にも関わらずビーバースカウトをはじめ全員が嫌な顔をせず温かく見守って下さいました。

団委員長は常々、「団は大きな一つの家族」と言っていますが、まさにその温かさを感じることができた貴重な思い出深い日となりました。感謝致します。



第24回世界スカウトジャンボリーにて



富士章授与式にて

## 私の青春

松戸・鎌ヶ谷地区 松戸第11団  
ローバースカウト隊  
認証番号:日本連盟3961 県連盟158

金沢 侑芽

富士スカウト章取得では、学業との両立に励みました。私が本格的に富士スカウト章取得を目指したのは、高校3年生の夏ごろです。結果として、約6ヶ月という短い期間で取得することができました。しかし、私は毎日部活や受験勉強などで忙しい高校生でした。時間がない中でも富士スカウトになることができるのだろうかという疑問に持つこともありました。

そんな私でも取得できた理由は荒野行動やSNSをはじめとした娯楽の時間を減らした点にあると思います。その時間を富士スカウト章取得のために充てることにより、十分な時間をとることができました。また、思い立ったらすぐに行動する性格なため、隊長やスカウト仲間プロジェクトの内容などをすぐ相談することができたということも富士スカウト章取得につながった大きな理由だと思っています。

今後は時間がないことを言い訳にせずに様々なことに取り組み、他の模範となるようなスカウトになろうと思います。

最後に、富士スカウト章を取得することができたのは、隊長、地区の方々、その他関係者の方々の協力のおかげです。ありがとうございました。

## 富士スカウト章取得おめでとう

保護者 ● 金沢 武史

このたび、金沢侑芽が富士スカウト章を取得することができました。松戸・鎌ヶ谷地区の皆様、松戸11団の皆様、一緒に活動して頂いたスカウトの皆様、ご指導ご協力を頂き誠にありがとうございました。

私がボーイスカウト活動をしていた関係もあり、子供にも活動をしてもらいたい気持ちがありましたので、松戸11団でローバースカウトからお世話になっております。

本人の活動を見ていますと、少ない人数の中でも前向きに参加をし、仲間と共に活動をしている姿を見ますと嬉しい気持ちになります。

私が現役で活動をしていた時には、富士スカウトは憧れでもあり夢のようなものでした。富士スカウト章を取得するまで、沢山の課題があり大変な思いをしたと思いますが、諦めずにやりぬいた事はとても感心をいたします。

今後、ボーイスカウト活動をするにあたって今までの経験を大切に、自覚を持って生活をしてもらいたいです。決して無駄になることはないと思います。おめでとう 弥栄!

## 私の自慢のスカウト

若生 義行

松戸・鎌ヶ谷地区 松戸第1団  
ベンチャースカウト隊長

指導者の楽しみの1つに、スカウトたちの成長を見ることがあります。中には、ええっ、あのときのあのスカウトがこんなになって、といううれしい場面に接することもあります。今回当団より2人の富士スカウトが誕生しました。隊指導者としては、大きなご褒美をもらった気持ちでいっぱいです。

ベンチャースカウト隊上進時は、2人とも集会への出席率は良かったのですが、進歩に対する意欲はそんなになかったと記憶しています。とにかく楽しいことがしたいといった感じでした。それが、あるとき富士スカウト章取得に目覚め、仲間と一緒に富士スカウト章を目指して来ました。楽しい活動の中にも進歩への意欲が強く理想的な活動を展開することができました。その結果、時間はギリギリになりましたが、目標の富士スカウトになることができました。それぞれが、大変努力したと思います。これからは、自分の経験を後輩スカウトへの支援に役立てて頂ければ幸いです。どんな時も笑顔を忘れずに向上心を持って頑張りたいと思います。

## スカウト指導

天城 竹治

松戸・鎌ヶ谷地区 松戸第11団  
ベンチャースカウト隊長

金沢スカウトは、昨年7月の準スカウト章取得後必ず富士スカウトになるという明確な信念を持ち第24回世界スカウトジャンボリーから帰国後直ぐに富士チャレンジの相談を受けました。

準スカウトとして、最低6か月間「ちかい」と「おきて」の実践に最善をつくすことが基本になりますので、富士スカウトへの挑戦計画作成実行の支援を早速行いました。地区のビーバー祭や地区募集活動「みんなで遊ぼう自然体験学級」に毎回奉仕していましたので、自然に奉仕活動に取り組めたと思います。

世界スカウトジャンボリーに班長として参加し班員の指導、諸外国のスカウトとの交流を通し視野が広がったと思いますし、将来、公認会計士になるという明確なビジョンを持っており資格取得を着実に進めておりましたのでスムーズに富士スカウト章挑戦への道に入る事が出来たと思います。

指導は、レポートの書き方に多くの時間を費やしました。始めは、他の人に分りやすい内容ではなく、主体性に欠ける表現もありましたが、理解と対応が早く最速の6か月で取得できました。

## 富士スカウト章とは…

### 富士スカウトはスカウトの最高位

スカウト運動の進歩制度は、スカウトが仲間の力や成人の支援を得ながら、進歩課題に取り組むことによって、青少年の中に眠っている「やる気」を呼び覚ますスカウト運動独特のシステムです。スカウトは進歩課題を修得し、「認め、認めてもらう」ことで、自信を持って成長します。

進歩課題は、ローバースカウトの仮入隊の課題から木の葉章・小枝章、カブスカウトのりす・うさぎ・しか・くま・月の輪、ボーイスカウト、ベンチャースカウトの初級・2級・1級・菊・隼、そして最高位の「富士」へとつながります。

また、カブスカウトのチャレンジ章、ボーイスカウト、ベンチャースカウトの技能章は、少年たちが興味を持つ得意分野について、自ら学ぶことによってさらに自信を深めています。

スカウトは活動を通じて身につけた知識・技能を活かして、良き社会人として地域からより広い世界に貢献することを目指します。



## 富士スカウト章を 取得するまで

船橋地区 船橋第5団  
ローバースカウト隊  
認証番号:日本連盟3987 県連盟160

小川 芳晃

私のスカウト生活は10年ほど前、カブスカウト隊に入隊して始まりました。自然をこよなく愛し、自然に触れていきたいスカウトになった私にとって、当時からスカウト活動はこの上なく居心地の良い場でした。

ボーイ隊の頃は、学校の教師など周囲の人にボーイスカウトを理解して貰い、学業・部活動とスカウト活動を並立して行っていました。ベンチャースカウトになると自ら計画・実行・報告を行って、興味のあるものを追求する機会が多くあったと思います。そして、希望する林学を専攻する進路を実現することに繋がりました。

富士スカウト章取得の過程で苦しかったのは野外活動ではなく、レポート作成でした。なぜなら、文や図の構成などの訂正を繰り返し、面識のない一般の方にも分かりやすいものを目指したからです。しかしこれも、貴重な経験だったのだと取得してから思います。

ここまで導いてくださった多くの方々のご理解とご支援に対して、常に感謝を忘れず、より良き社会を作るために、更に精進します。



生物多様性保護プロジェクトの模様

## 富士スカウト章を取得するまでの 活動を見てきて感じたこと

保護者 ● 小川 智弘

紙面をお借りして、息子芳晃の富士スカウト章取得及びこれまでのスカウト活動においてお世話になりました指導者、育成会など多くの関係者の皆様に感謝を申し上げます。

2010年、栃木県連盟宇都宮第1団にカブスカウトとして入隊後、転居とともに東京連盟世田谷第5団、千葉県連盟船橋第5団と転団を繰り返しましたが、ここまでスカウト活動を継続してこられて良かったと感じています。

また、ベンチャースカウトへ上進後、活動の範囲が自団内から地区・県連盟へと広がり、隼そして富士スカウト章取得という同じ志を持つ仲間や、多くの指導者の皆様に巡り会えたことは、各章を取得出来た大きな力になったと思います。

さらに、2019年、第24回世界スカウトジャンボリー（米国）に国際サービスチーム員として参加したことは、親の想像を超えるチャレンジであり、勇敢に取り組んだ息子を褒めてやりたいと思います。

今後とも指導頂いた皆様のご恩に報いるようにスカウト活動を続けて欲しいと思います。



日本スカウトジャンボリーにて

ビーバー時代

## スカウティングに 目覚めて

千葉地区 千葉第18団  
ローバースカウト隊  
認証番号:日本連盟3937 県連盟156

木谷 美里

私は、6歳で入団した当初、とても人見知りで、ボーイスカウトが苦手でした。ですが、ボーイスカウトによって、私は大きく変わりました。

パトローリングシステムのもと、仲間と1つの目的のためにやり遂げることの楽しさを知りました。また、ボーイスカウト隊で出会った隊長から、スカウティングの素晴らしさ、ベーデン・パウエルのお考え、生き方を学び、私の中にスカウティングを愛する気持ちが芽生えました。

ベンチャースカウトになってからは、進歩制度のもと、多種多様な経験を積み、グローバルな価値観や行動力を身につけました。普段の生活では交わることのない世界を自ら見つけ出していけることは、富士スカウトに挑戦することの良さの1つです。挑戦していく過程は富士スカウトになることより大切です。

今後は、富士スカウトとしての名誉を重んじ、ちかいとあきでの実践に務めていきます。いつも支えて下さる方や仲間への感謝の心を持って、次のスタートを切りたいと思います。

## 実り

保護者 ● 木谷 澄子

娘は一人っ子で、人見知りで、ずっと黙っている子でした。心配した私達夫婦は、試行錯誤したのち、ついにボーイスカウトに無理やり入隊させることにしました。娘は楽しんでいない様子でしたが、私達は、本人が「嫌だ」と言い出すまでは、知らん振りを決め込むことにしました。

ところで、蟬の幼虫は土の中で5年という長い時間をかけて成長するといいますが、人間にも同じタイプがいるようです。娘は何年も沈黙していましたが、ボーイスカウト隊に上進すると、頻りに最優秀スカウト賞を持って帰ってくるようになりました。

すっかりやる気になった娘は班長になり、頻りに班集会を企画し仲間を集めました。すると、お互いを高めあえる素晴らしい仲間ができていきました。娘が最高位の富士スカウトになれたのは、この仲間と共に上へ、上へ全速力で走ったこと。そしてそれを周りの人が支え、励まし、労って下さったことだと思います。長年にわたって娘を見守り、道を照らし、導いて下さった全ての方々に感謝申し上げます。



プロジェクト指導者への  
ファーストステップの様様



## 暗礁をよけた先に

北総地区 流山第3団  
ローバースカウト隊  
認証番号:日本連盟3986 県連盟159

伊藤 芳治

「私もいつか富士スカウトになりたい」

こう思いながら活動に参加していくうちに、私は次第にスカウト活動それ自体が楽しいものだと感じるようになりました。様々な活動を通して多くの気づきを得ることや、多くの仲間と出会うことは非常に楽しく、現在でも活動を続けている大きな理由の1つです。

しかし、時には暗礁に乗り上げることもありました。思うように活動を進めることができなかつたり、報告書やプロジェクト資料の再提出を求められたり、ということが多々ありました。しかし、富士スカウトになれるのなら、という思いでそれらを乗り越えここまで頑張ることができました。様々な暗礁を上手によけたことにより、今の私があるのだと思います。これらの経験を活かし、今後もスカウト活動を始め様々なことに挑戦していきます。

そして、これまでご支援、ご指導いただいた全ての皆様に感謝申し上げます。皆様の支えなくして、今の私はいません。本当にありがとうございました。

## 人生のマイルストーン

保護者 ● 伊藤 芳績

流山第3団が50周年を迎えた記念誌に「僕の夢」と題した文章に富士スカウトになるという目標が記されています。仲間と認め合い、助け合い、高め合いという先に富士スカウトになるという事が書かれ、そこから5年の過程での到達でした。

本人はボーイスカウト世代としては「四世代目」となります。本人の母方の家族も現役の隊指導者として活動しており、生まれた環境はボーイスカウトに関わり深いものです。

日本スカウトジャンボリーや世界スカウトジャンボリー、県フォーラム、全国フォーラム、日韓スカウト交歓計画、富士特別野営等様々な体験の場をご提供いただき、団、地区、県連盟に保護者として感謝しております。

現在、大学では社会福祉を学び、ローバーとして活動に取り組んでおります。これまで体験させていただいたことを発展させ、人のお役に立つことの実践に取り組んで欲しいと期待しています。

## 富士スカウト章取得、おめでとう

千葉県連盟 千葉第18団  
ベンチャースカウト隊副長

岩井田 慧美

ベンチャー隊に上進してから、(猛暑の)探検キャンプ、(極寒の)移動キャンプ、パイオニアリングや技能章課目など、様々な活動に挑戦してきましたね。大きな困難が伴うことも多くあったと思いますが、自ら考え、行動し、どんなことにも前に進もうとする姿勢で常に成長され続けていました。

自団の活動だけでなく、複数の大会や海外派遣にも参加し、他団に所属する仲間と一緒に活動したこと、また、外国スカウトとの交流を通してさらに大きく成長されたように感じられます。

日々の活動の中において経験したこと、感じたこと、学んだことが少しずつ積み重なり、木谷スカウトだけの富士スカウト章に繋がっています。

自身の進級課目、プロジェクトだけでなく、先輩として後輩スカウトの指導もしっかりとこなし、他のスカウトの模範となる姿でした。今後はローバースカウトとして、様々な経験の中で多くのことを学び、より良きスカウトとして成長されていくことを期待しています。

富士スカウト章取得、おめでとう。 弥栄

## スカウトと共に学ぶ

船橋地区 船橋第5団  
ベンチャースカウト隊長

出口 裕理

私がベンチャースカウト隊の隊長になったのは2年前です。隊のスカウトの数は非常に少なく、また指導者経験の浅い私にとってはどのように活動をしていけば良いのか試行錯誤を繰り返す2年間でした。

その為、小川君には私が足を引っ張ることが多々あったかと思いますが、団の方や、地区の方々に助言・ご支援いただき私自身が勉強することが多かったです。

スカウトにはスカウト活動だけでなく、日常生活や学校生活、今後社会に出て活躍できるような人間になって欲しいと思い指導をしてきました。富士スカウト章取得を目指して努力してきたことは確実に自身の将来に役に立つと思います。

また私も多くのことを学ばせていただきました。

富士スカウト章を取得できたのは様々な方々のご支援があったことだと思います。これから社会で思いっきり活躍する姿を見せてくれることが返返しだと思います。これからも一緒に頑張ろう!

おめでとう! 弥栄。

## 成長こそがスカウティング

北総地区 流山第3団  
ローバースカウト隊長

野田 宏規

伊藤スカウトの雄姿に称賛を送る指導者は数多くおられると思います。スカウトとしての高度なスキルを身に付け、良き市民としての精神を持ち、青年として未来を想う、その姿は、まさに模範スカウトです。しかし、私は、他の何よりも彼の成長にこそ最大の賛辞を贈りたいと思います。

私は、ボーイスカウト隊副長やベンチャースカウト隊長として、ずっと彼の成長を見てきました。彼にも、仲間との関係に悩んだり、自身と葛藤していた時期がありました。それでも、彼は、それらの障壁を乗り越えて、力強く成長していきました。

伊藤スカウトは、失敗をただのミスとしてやり過ごすのではなく、自らの情熱に変えることのできるスカウトなのです。ローバースカウトとなった彼は、水を得た魚のごとく、もっと大きな世界に飛び込んでいくことでしょう。私は、彼のファンの1人として、その未来が楽しみで仕方ありません。

結びに、伊藤スカウトの活動に関わった全ての方々に、御礼申し上げます。ありがとうございました。



富士スカウト章を取得されたみなさん、おめでとうございます。  
これまで、スカウトの仲間、保護者の方々、指導者の方々など多くの支援を受けて、富士スカウトへの道のりを歩まれてきたことと思います。

富士スカウト章はスカウトの進級課程の到達点とされていますが、取得=ゴールではありません。

今後もご自身のスカウティングを追求するとともに、地域社会への貢献や後輩スカウトの支援など、富士スカウトとしての誇りをもって、積極的な活動を継続してください。

また、ローバースカウトとして、所属団や地区のみならず、千葉県ローバース会議（CRC）、全国ローバース会議（RCJ）など、様々なコミュニティでさらに活躍できる多くのチャンスがあります。

様々な情報を敏感にとらえ、広い視野をもって、感謝の心を忘れずに多くの活動にチャレンジしてみましょう。Scouting Never Stops！

千葉県連盟青年代表理事 千葉県ローバース会議議長 岩井田 慧美  
認証番号：日本連盟3187 県連盟147



平成27年首相官邸表敬訪問行事にて



平成27年度富士スカウト首相官邸代表表敬の様様(首相官邸公式HP)  
動画の5分頃から岩井田青年代表理事が登場しています。

[https://www.kantei.go.jp/jp/97\\_abe/actions/201603/30hyoukei.html](https://www.kantei.go.jp/jp/97_abe/actions/201603/30hyoukei.html)

## 一仲間を増やし、友情バッジをゲットしよう!!

「ひとりでも多くの青少年にスカウト運動を」のスローガンのもと、ボーイスカウト日本連盟では組織拡充顕彰として「友情バッジ」を制定しています。スカウトがお友だちを誘って、入隊して頂くと「友情バッジ」が授与されます。

この度、この制度の充実を目指し「友情バッジ」を県連盟から贈呈することにしました。仲間がたくさんいると活動がいっそう楽しくなります。ふるってお友だちに活動を紹介し、入隊して頂けるよう働きかけをお願いします。



金色バッジ●5名以上のスカウトを入隊させたスカウト  
銀色バッジ●3名以上のスカウトを入隊させたスカウト  
銅色バッジ●1名以上のスカウトを入隊させたスカウト



## 広報関連スタッフ募集中

運動拡充委員会では、「スカウトちば」やホームページなどの広報を充実させるため下記のスタッフを募集しています。下記のスキルに該当する方々で、自薦、他薦を問いません。

### 応募条件

ローバースカウト、成人指導者で以下に該当する方

- ①写真、映像撮影、編集が出来る方
- ②イラストレーター、記事編集が出来る方
- ③ネット発信・拡散などが出来る方
- ④Webのデザインなどが出来る方

詳しくは下記を参照下さい。

[http://www.scout-chiba.jp/member/movement\\_expansion/3774/](http://www.scout-chiba.jp/member/movement_expansion/3774/)



## 県連盟公式フェイスブックファンページ開設

県連盟では、県連盟、地区や団の活動報告を行うためにフェイスブックのファンページを開設しました。団や隊で発信したい場合は、ファンページのメッセージからお知らせ下さい。

<https://www.facebook.com/scoutchiba/>



### 【発行者】

日本ボーイスカウト千葉県連盟

〒260-0001 千葉市中央区都町2-1-12 千葉県都町合同庁舎4階

TEL.043-235-8070

運動拡充委員会 編集責任 山本 勲

詳細は、日本ボーイスカウト千葉県連盟ホームページをご覧ください <http://www.scout-chiba.jp>



お問合せは